

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス にじいろクラブ		公表日		2026年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点	
						環境・体制整備	1
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	4	●職員不足だと感じる日もある ●個別対応する利用者が多くスタッフ不足を感じる	現在ハローワーク、施設館内での募集職員の確保をします。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	3	●トイレ利用時に階段を使う必要があり障害特性によって危ないと感じる時はある●写真などで片付ける場所や作業等を指示し視覚支援も充実している●1回にトイレがないので設置の必要がある		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		●子ども達が集中できるような活動によって場所や向きを変えることができる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		●プレハブでの使い分けが出来ている(着替え)●運動療育時(水泳)はコンテナで着替える●クールdownの部屋もあり安心して過ごせる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	1	●業務日報の書き込み、改善はすぐに出てくる		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		●保護者会も積極的に意向を聴く機会を設けている	内容を確認し参考にさせてもらっています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		●職員会議、スタッフ会議で意見を出し合いその都度改善している●月1回の会議で確認や意見交換をしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	9	●外部評価されているかわからない	現在、第三者による外部評価は行っていない。今後必要に応じて実施していくのと第三委員会と同様の委員会をもって	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13			研修で得た内容を実践できるように会議で確認します	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		●職員会議、スタッフ会議の場で情報共有しつつ方向性を決めている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	3			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	●1人がメインで活動の内容を決めている(運動療育は別のスタッフ)	全員での活動内容を会議にて細かいところまでを打合せを強化します。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	●大きなテーマはほぼ固定されている●毎週活動内容が違い子ども達の興味関心を引くように工夫されている	内容の固定化にならないようにしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		●必ず打合せを行い役割り分担その日の流れを確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	●振り返りを行い記録として残している ●情報共有はされている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		●1年でなくても必要であれば半年で計画作り直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ て支援を行っているか。	13		●毎週のスタッフ会議に乗せて、基本活動の再確認を行い療育支援をしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	13		●「選ぶ」「決める」場面を設けている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	5		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切 に行っているか。	13			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	5	●契約時保護者から資料をもらう事がある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	7	6	●対象者が1名である	必要は感じている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	1	●「つみき」と連携を図っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	2	11	●「そら」が出来てからは「そら」と交流を している	支援センターから放デイの療育の方法を引き 継ぐ事を考えている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	6	●参加したいと考えている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	13		●連絡帳やLINEを用いている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	10	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	12	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	13		●机の上に書類などが置いてある時がある	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	1	●保護者同士の交流はあるが兄弟同士の交流はない●年間4回保護者会の開催をしている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	9	●以前はフリマがありジュース屋さんで参加していた	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		●家族には周知していない(職員はすべて研修で周知済み)	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	4	●現在医師の指示はない●指示書はないが保護者に確認し対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1	●家族への周知はされていない	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1		書式記入にて全職員が把握するようにしました。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	2		研修で身体拘束においては共通意識をしています。	